



町民のひろば

耳よりな情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。
いらっしやい葛巻推進課 広聴広報係 ☎66-2111 内線 235

さわちゃん劇場

(澤口浩 作画) (217)

恐怖のいびき部屋の巻



自分のいびきは分らない...てか(笑話)



たまき
橋場 環ちゃん

(2歳8カ月・小田)
翔さん・奈菜恵さん 長女



あおい
鈴木 葵くん

(3歳6カ月・小屋瀬)
智さん・千明さん 次男



外では少し恥ずかしがり屋で、家ではお調子者の「たまちゃん」。お絵かきや三輪車に乗るのが好きで、自分で作った歌をいつも家族に歌ってくれます。着替えを一人でできるようになり、ご飯をよそったり運んだり、お手伝いもしてくれます。野菜をもう少し食べて、健康で元気に育ってほしいです。 奈菜恵

いつもにこにこして元気な「あおい」。パズルや型はめのほか、トランポリンで飛び跳ねるのが好きでよく遊んでいます。性格は、あまり「痛い」「かゆい」などと言わない強い子です。自分のコップの準備や、片付けをしたりお手伝いもしてくれます。このままにこにこ元気にたくましく育ってほしいです。 千明

ハイ、元気です

326



(85歳・茶屋場)
遠藤 勇一さん

「中学を卒業してから25年、岩泉町で木材加工の仕事をしました。不景気の時代に出稼ぎに転職し、愛知県で土木作業員として74歳まで働きました」と勇一さん。「木材加工の仕事は、加工した木材を線路のまくら木として使用していたので、すごくやりがいがあった」と当時を振り返ります。家では畑仕事や大工仕事などをしていてのことと、「いろんな野菜を植えて収穫すること、8人の孫と2人のひ孫たちが集まるのが今の楽しみです」と元気に話してくれました。

全国植樹祭苗木のスクールステイ 児童に植樹祭の苗木が託される

令和5年に陸前高田市で開催される第73回全国植樹祭で使用する「ドウダンツツジ」の苗木が、県から町内の2つの少年団に引き渡されました。

この事業は「苗木のスクールステイ」と呼ばれ、全国植樹祭で植樹する苗木を育てることで森林の大切さを学んでもらおうと、第73回全国植樹祭岩手県実行委員会が主催しました。苗木は、6月9日に江刈小学校緑の少年団に、18日に葛巻地区森林愛護少年団(小屋瀬小学校)にそれぞれ10本ずつ預けられ、12月に実行委員会が引き取るまで児童が水やりをして育てます。

県の担当者から森林の役割を学んだ酒多凛桜さん(江刈小5年)は「森林を守ることは地域の環境を守ることだと分かりました。苗木を大切に育てます」と、森づくりへの理解を深めたようでした。

このほか、江刈小学校に「ハウチワカエデ」、小屋瀬小学校に「オオヤマザクラ」の苗木がそれぞれ10本ずつ贈られました。



県の担当者からドウダンツツジの苗木を受け取る江刈小学校の児童



学校付近の堤防にオオヤマザクラを植樹する小屋瀬小学校の児童



ヤング 471

岩手の教育を支えたい

◆勤め先は？

4月から葛巻小学校の4年生の担任として働いています。軽米町出身で、小学生の時の担任が自分に自信をつけてくれたのがきっかけで教師を目指し、今年4月に念願が叶いました。子どもたちの話をよく聞き、意見を取り入れ、工夫しながら授業をしています。

◆自分の性格は？

元気で明るい性格だと思います。

◆趣味・特技は？

映画鑑賞です。洋画、邦画どちらも好きでよく観ています。

◆今、一番したいことは？

海外旅行がしたいですね。学生の時に、研修でフィリピンに行ったことがあり、すごく楽しくて海外に興味を持ちました。今度はタイに行って象に乗りたいです。

◆理想の男性像は？

一緒に楽しんでくれる人です。

◆将来の夢は？

岩手の教育を支えられるような教師になりたいです。

◆最後にひと言

子どもたちとともに全力で勉強していきたいと思っています。皆さんよろしくお祈りします。

今日のショット



6月6日、町民総合体育大会前期競技が行われました。(関連記事13ページ)



6月5日〜6日、平庭高原つつじまつりで、観光客らが各種イベントを楽しみました。(関連記事13ページ)